

# 女性研究通信

Support Office for Female Researchers

第3回 11月15日(金)  
松本キャンパス

第4回 11月18日(月)  
長野(工学)キャンパス

## 学長と女性研究者の懇話会

平成23年度からの約2年で女性研究者を組織的に支援できるようになってきました。また、松本キャンパスにおひさま保育園を新築しました。これからの教育、研究にとって女性の力は大きい。将来的に女性の増員や、そのレベル向上のための環境づくりをしていくためにも、男女共同参画、女性研究者支援は継続し、来年度以降はどのようなことが必要か検討して組織づくりをしたいと思っております。



山沢 清人 学長

### 「男女共同参画、女性研究者支援は続けていきたい」(学長)

#### 主な意見・提案

##### 第3回



- 研究補助者制度※は学生のキャリアアップにもつながっており、高い効果が得られているため、制度の継続を希望する。
- 女性研究者支援で働きやすさも必要だが、女子学生の未来像を描くという視点も必要である。
- これからの育児支援は時間外保育、学童保育といった細かいことを考えてほしい。
- 女性教員同士のネットワークづくりも大切だと思う。
- 女性教員を増やし、リーダー育成のため若い時から経験の場を与えてほしい。
- 学部ごとの意識改革が必要であり、特に部局長などの管理職研修が必要である。
- 研究補助者制度はさらに制度を膨らまして、細やかな支援として継続を希望する。

##### 第4回

- 研究補助者制度のお陰でチャレンジしていこうという気持ちが出てきた。今後は成果を出したい。
- ワーク・ライフ・バランスについては男女ともに生活を大切にす視点で継続してほしい。
- 女性研究者支援室と連携して開催した工学部オープンキャンパスのキャリアデザイン講座で、実績が上がったのでぜひ来年も実施したい。
- 男性の育児に対してもサポートしてほしい。
- 女子学生に奨学金や学会の出張費をサポートするなど、女性研究者養成制度があるとよい。
- 優秀な女子学生が進学し、研究者として育つためにロールモデルが必要である。
- 問題を抱えている当事者が集まり、使い勝手の良い支援策をつくるのもよい。



#### 懇話会により 改善・対応された点

- おひさま保育園から駐車場へ行く通路が夜になると暗く、子どもを連れて歩くのが危険という意見がありました。すぐに街灯の設置状況を確認し、球切れ箇所は電球を交換して、街灯がなく暗い場所は新たに仮設の街灯を設置してもらいました。

※研究補助者制度とは、本学の研究者が出産、子育て又は介護と研究の両立ができるよう支援するために研究補助者を配置する制度です。



松岡 英子  
女性研究室支援室長

昨年度に続き本年度も、女性研究者の意見を学長に直接聞いていただき、女性研究者支援事業に活かしていきたいと思っております。忌憚のないご意見をお聞かせください。支援事業は正味2年、その中でできる限りいろいろなことをやってきましたが、意識改革での課題もあります。信州大学が女性も男性も働きやすい環境になっていくよう、来年度以降も女性研究者支援を継続していきたいと思っております。



渡邊 裕  
理事(経営企画、総務、人事担当)  
副学長

本年度で文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」も終わりますが、この期間で男女共同参画は急速的に進みました。今後は大学独自に取り組んでいきますが、女性教員が元気で働きやすい職場は男性教員にとっても働きやすい職場であると思います。そのため多くの女性研究者に参加いただき、学部の若い先生たちに届くように活発な意見交換をして欲しいです。

## キャリア形成支援セミナーを開催しました。 『研究者、教員になるために学びたい 伝える力』



日本科学未来館  
科学コミュニケーター  
落合 裕美氏

平成25年11月13日(水)、長野(教育)キャンパスにおいて、日本科学未来館 科学コミュニケーターの落合裕美氏を講師にお招きしてキャリア形成支援セミナーを開催しました。

第4回目のセミナーでは「こたえる技術」～答える・応える・堪える～をテーマに前半は講義、後半はグループ毎の演習に取り組みました。参加者は大変興味深く講義に傾聴し、演習では「誰に対して説明するのか」対象者を設定し、講義で学んだ伝えるコツを実践しました。この演習では、参加者のほとんどが対象者を小学生や中学生などに設定し、教育学部らしさが表れていました。

セミナーの最後には、質疑応答の他に、「女性の“はたらく”を考える座談会を設けました。女性の講師をお迎えし、和やかな雰囲気の中、テーマの「伝える力」について意見交換をしながら深く学べる良いセミナーとなりました。



### 参加者の感想

- 相手に伝えることの難しさを感じると同時に、伝えることの大切さを学びました。
- 今後、教師になった時に参考にしたいと思いました。
- 相手を見て、どのように距離を縮めていくか工夫することの大切さを感じました。
- 説明する際の工夫の仕方が良く分かったのと、科学に対する歴史的変遷の話が興味深かった。

など

### 伝え方のコツはどんなこと？

答え方は無限大∞

**5歳児**

**Question**  
なにこれ〜？  
なにそれ〜？

**Answer**  
さいばうだよ。  
あなたの身体をつくってる小さい粒粒のこと。

最近な例を挙げて説明

言葉だけではなく  
表情やしぐさも拾い上げる

**大学生**

**Question**  
こわって○○ですよ、  
ってことば××ってことですか？(卑口)

**Answer**  
そうかもね、くわしいの？  
なんで知ってるの？  
でも××以外にも  
☆☆というのがあるね…

知識を正確に返すと納得

やり取りをする中で  
レベルを修正していく

**カップル**

**Question**  
これ、着てみないですか？  
きゅー、おめいりー(女性)

**Answer**  
無言。  
うなずいて、笑顔で見守る。

積極的にならず、任せる

一緒にいる人との関係も  
注目！

協力/イラスト Future Work Studio "Sew"、池田晃一さん  
(この資料は、Sewで行われた「『いいね!』を生み出す技術」のワークショップから一部抜粋)



### 工学部オープンキャンパス

## 「女性による女子高生のための キャリアデザイン講座」を開催！



カワモト ポーリン・ナオミ先生

平成25年10月26日(土)第2回工学部のオープンキャンパスで、「キャリアデザイン講座」を工学部広報室と共催により開催しました。女性研究者支援室からは事業概要パネルの展示や資料を配付しました。現役リケジョ学生や教職員による大学生活についての発表及び女子高校生との座談会を行いました。

工学部准教授 カワモト ポーリン・ナオミ先生の司会進行により、「皆さんの大事なキャリアを計画していくために、これから就職しようとしている学生など、いろいろな女性に集まってもらいました。」と自己紹介をかねて挨拶がありました。

まず、「**リケジョの生活**」と題して、理工系研究科建築学専攻修士課程1年の井出恵実さんより、工学に進んだ理由や研究・学生生活について、実際の写真などをパワーポイントを使い、紹介していただきました。次に、「**現役OLの生活**」と題して、工学部附属図書館スタッフの武田佳代さんから、仕事内容や結婚・子育てなどについてお話しいただきました。大学で働く女性をイメージしてもらえる紹介例になったと思います。



座談会では、高校生や保護者の方、教職員、学生などが参加し、学生のキャンパスライフや信州の住み心地、女性の少ない工学部での様子などについての質問や相談があり、和気あいあいとした交流がみられました。当日の様子は、10月30日の信濃毎日新聞で紹介されました。

### 松岡女性研究者支援室長による 諏訪市職員研修会 10月29日(火)



「男女が働きやすい職場」について信州大学の取り組みも含めて講演しました。対象者の9割は男性でした。



#### 感想・コメント

- 日本は諸外国と比較して男女格差はまだあるようだが、ジェンダーに敏感になることが大切なのだという言葉が印象に残った。
- 民間はダイバーシティ受入れの土壌ができていますが、国のルールを決める行政で進んでいないことが問題を起こしている要因だと感じる。
- 常に自己肯定感を持つ、また自分だけではなく他者の価値観も同じように大切にすることなどが、みんながしあわせになる第一歩だと感じた。



# おひさま保育園が開園しました！



平成25年11月1日(金)、松本キャンパスの学内保育施設「信州大学おひさま保育園」が開園し、秋晴れの空の下、来賓・学内外関係者約50人により開園式が行われました。まず新園舎前にて山沢学長をはじめとする関係者6名によりテープカットが行われ、会場を遊戯室に移して記念式典が執り行われました。山沢学長と天野理事・副学長から挨拶があり、また来賓の松本市代理、松本市子ども部長の福嶋様からご祝辞を賜りました。その後は保育園概要説明や、田口園長の案内による施設見学も行われました。

午後には教職員向けの内覧会が行われました。参加した職員からは「明るく木のぬくもりが感じられるだけでなく、子ども目線の安全な設計になっていてとても安心。ぜひ子どもを預けてみたい。」などうれしい声が聞かれました。

新園舎での保育は11月6日(水)より開始し、子どもたちも新しい園舎にだいぶ慣れてきた様子です。12月6日(金)にはクリスマス会が行われ、サンタさんが登場すると歓声を上げて大喜びする姿が見られました。

平成26年度以降の入園案内は、男女共同参画推進のウェブサイトへ掲載し、またパンフレットも配布する予定です。



<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>



## INFORMATION

### 大学入試センター試験における 一時保育の実施について

本年度も大学入試センター試験の際に、同試験に従事する教職員のお子様をお預かりする一時保育を実施します。今回は利用料金の引き下げ、利用時間を延長して実施します。

●要申込 <http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>

なお要望のあったお子様の食事については、アレルギー食の対応ができないため、本年度もご用意いたしません。ご了承ください。

### 平成26年度(4月～9月期) 信州大学研究補助者制度の 利用者募集を開始します。



本学の研究補助者制度は、女性研究者支援室が設置された平成23年度に導入し、平成25年度まで文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」により運用してきました。平成26年度からは、本学独自の財源によって、子育て・介護等と研究の両立を支援するため、研究補助者を配置する制度を引き続き実施する予定です。

詳しくは1月中旬以降、以下のURLからご案内いたします。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/>

### お問い合わせ

#### 信州大学 女性研究者支援室(SuFRé)

松本分室(総務部人事課内)  
〒390-8621 松本市旭3-1-1  
TEL 0263-37-2167  
FAX 0263-37-3314  
内線 811-2127

長野分室(教育学部内)  
〒380-8544  
長野市西長野6-口  
TEL/FAX 026-238-4048  
内線 831-4048

E-mail: [sufre@shinshu-u.ac.jp](mailto:sufre@shinshu-u.ac.jp)

信州大学 スフレ

検索

開室時間

9:00～17:00(月～金)

#### 長野分室(教育学部内)案内図



男女共同参画推進  
SHINSHU UNIVERSITY